

## はじめに

政府は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、4月7日、改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を東京、大阪、兵庫など7都府県に対し発令しました。さらに、16日には対象地域を全国に拡大しました。いずれも期間は5月6日までとなっています（4月30日現在）。食堂、コンビニ事業などを行う弊協会の役割は、わが国の国民生活、経済活動を支える港湾物流業務に携わる港湾労働者の福利厚生事業を担っているところにあります。感染防止策を徹底して行った上で、できる限り事業を継続していきたいと考えています。

そして、新型コロナウイルス感染拡大の一刻も早い収束、国内経済の早期回復、1年後に予定される東京オリンピック、パラリンピックの開催が成功裏に終えられることを願うばかりです。

このような中、2019年神戸港コンテナ取扱個数は、前年比2.5%減の287万TEUと6年ぶりに減少しました。神戸港の港勢は厳しい状況にありますが、政府はじめ神戸港関係者の皆さまにより国際コンテナ戦略港湾政策がより一層積極的に推進され、神戸港の港勢拡大が今後も続いていくものと確信しています。

さて、弊協会の令和元年度決算は、13,155千円のマイナス（収支ベース）となりました。より一層の経営の効率化、財政の健全化に取り組んでまいります。

事業別にみると、食堂事業では、昨年10月の消費増税、さらには今年2月以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響等で1日当たり売上げが対前年度比2.7%の減収となりました。今後とも、光熱水費の縮減、食材の一括購入によるコスト削減への取り組みを進めるとともに、メニュー、味付けなど様々な創意工夫を重ね、港湾労働者をはじめ市民の皆さまに繰り返しご利用いただけるよう、一層の魅力アップを図ってまいります。

コンビニ事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響等で今年に入り売上げが減少しましたが、年間を通しては1日当たり売上げが0.6%の微増となりました。周辺競合店の多い中、スタッフの接客力向上や店舗独自の販促イベントの実施などの効果が表れたものと考えています。

住宅事業では、鈴蘭台一ツ鉾山共同住宅及びコーポ西町共同住宅は入居率が昨年度より低下しましたが、国産波止場共同住宅は平成29年度から開始した弊協会予算による浴槽及び給湯器の設置が好評で入居率が上昇しました。

神戸ポートオアシス指定管理事業では、平成29年7月の運営開始以来、たくさんの港湾労働者の皆さま、一般市民の皆さまにホール、会議室をご利用いただいております。利用率は3年連続上昇しました。現在は（4月30日現在）、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、3月3日からホール、会議室の貸

し出しを休止し、皆さまには大変ご迷惑をおかけしています。運営開始以来、多くのご意見をいただき、改善に取り組んできましたが、再開後も更に親しみやすい会館運営に努めてまいりますので、皆さまの一層のご利用をお願い申し上げます。

今後とも、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

# I 事業報告

## 1. 施設管理運営事業

### (1) 総合厚生施設（神戸ポートオアシス・福祉センター）の管理運営

弊協会が指定管理者として運営する「神戸ポートオアシス」は、400名収容多目的のホール及び会議室の利用促進、稼働率の向上に向け全力で取り組みました。

会議室は、講演会、各社会議、販売展示会、採用選考会など、多目的ホールでは、演劇・コンサート（プロ含む）、ピアノ教室発表会、合唱団発表会、ファッションショー、入学式などの学校関係行事まで多種多様な内容で、オアシスの存在感が一段と目立つ1年となりました。

ホール・会議室の利用率向上を目指して、従来から実施しているホームページ、パンフレットの配付、各種文化団体への訪問等によるPRに加え、元年度はTwitterによるホールイベント情報等の発信、Google インドアビューによる施設情報の案内等ITを活用した情報提供、神戸市が一昨年に引き続き実施した三宮～ウオーターフロント間の連節バス試験運行と連携した施設PR等積極的な情報発信に努めました。また、学生を対象にホールでピアノ演奏(練習)ができる「ピアノ練習開放デー」、ホール運営業者による演劇等の教室開催などの利用促進に取り組みました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、令和2年3月3日から神戸市内施設の休止が発せられ、神戸ポートオアシスも3月は29日間の閉館となりました。

この様な中、多目的ホールの令和元年度年間利用率は、対前年度比4.6%、会議室(502/503号室)は、同5.3%とそれぞれ上昇しました。今後さらに多くの市民の皆様が気軽に利用できる環境整備を整え、一層の利用者サービスに努めてまいります。

第一福祉センターについては、適正な管理運営を行いました。

なお、当施設は、令和2年3月末をもって閉館となりました。その長き歴史、神戸港の歴史を見つめてきた港湾労働拠点の一つが終わりを迎えたことになりません。

### (2) 食堂（ピアハウス）の管理運営

兵庫ふ頭から六甲アイランドまでの神戸港地域に設置のピアハウス9ヶ所の管理運営を行いました。各ピアハウスとも清潔、安全・安心な食事の提供、スタッフは真剣な中にも元気で明るく、港湾労働の一翼を担っているとの意気込みで皆様をお迎えしました。

中でもピアハウス「オアシス」は、ホール・会議室利用者向けに、平日は午後8時まで、日祝日も営業しており、リーズナブルなパーティーメニューの提供、会議室へのケータリングサービス、ホール・会議室利用者に対する「オアシス利用割引券」の配付を行うなど、オアシスとホール・会議室との相乗効果による施設利用が図られるよう取り組みました。

その他、オアシス 2 周年記念感謝セール、ビアバイキング等の季節イベント、みなとこうべ海上花火大会特別販売等を実施し、売上げ増に努めました。これら取り組みは、利用者増の効果が見られた以外に、昼食終了後も老若男女を問わず談笑されている姿が見られ、貴重な昼休憩時間の過ごし方の一つに「オアシス」が憩いの場となり選択されていると思います。

また、9店舗共通で「祝・開港 150 年ランチ」を衣替えした特別ランチ「得ランチ」を提供しました。

令和元年度のピアハウスの 1 日当たり売上げは、上半期はほぼ前年並みの水準で推移しましたが、下半期は消費増税、さらには 2 月以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり対前年同期比 4.6%の減少となり、通期では 2.7%の減少となりました。

### (3) コンビニエンスストア（ピア）の管理運営

港湾の 364 日 24 時間荷役に対応するため、兵庫埠頭、六甲アイランドに設置している 2ヶ所のコンビニエンスストアを引き続き運営しました。

ピア兵庫店は、近隣に大型ショッピングモールが開業し大きな影響を受ける中、店舗独自の販促イベントを毎月実施し、お客様の満足度を高めリピーターの増に繋げました。なお、台風による高潮被害を避けるため、空調室外機の嵩上げ工事を行いました。

ピア六甲店は、幹線道路沿いに多数のコンビニが存在し競争が激しい中、地域密着型店舗を目指して「こども店長」の開催、中学生による職場体験「トライやるウィーク」を実施するなど地域交流の場を提供しました。「トライやるウィーク」に参加した中学生からは、スタッフが親切、仕事の大変さを知った、六甲店でアルバイトをしたいなどの声をいただき、休日は保護者と共に買い物に来ていただくなど受け入れ効果を感じています。

令和元年度のコンビニエンスストアの一日当たりの売上げは、こうした取り組みの効果もあり、対前年度比 0.6%の微増となりました。

今後も多くの港湾労働者の皆様にご利用いただけるようスタッフ一同懇切丁寧、明るく接客に努めてまいります。

### (4) 住宅施設の管理運営

鈴蘭台一ツ楯山共同住宅（196 戸）、国産波止場共同住宅（165 戸）及びコーポ西町共同住宅（40 戸）の共同住宅について、より快適な生活・住環境を提供するため日本港湾福利厚生協会からの助成を受け維持補修に万全を期すとともに、住宅パンフレットを配付するなど利用促進に努めました。

なお、国産波止場共同住宅については、平成 29 年度から浴槽及び給湯器を協会予算で順次設置し（総計 72 戸）、住環境の改善、入居率の向上に努めました。令和元年度の入居率は、鈴蘭台一ツ楯山共同住宅 58.2%（前年度 61.7%）、国産波止場共同住宅 86.7%（前年度 78.8%）、コーポ西町共同住宅 40.0%（前年度 42.5%）となりました。

## (5) 簡易宿泊所の管理運営（実施事業等会計）

神戸港湾寮（57室）・神戸みなと寮（12室）及び第一福祉センター（35室）の簡易宿泊所の管理運営を行いました。

なお、3施設は、令和2年3月末をもって閉館となりました。

## (6) 港湾労働者休憩所の管理運営（実施事業等会計）

令和元年度も神戸市からの業務委託（803万円 消費税込み）を受けて、港湾労働者休憩所19ヶ所（兵庫、新港、摩耶、ポートアイランド及び六甲アイランドの各地区に設置）の清掃、冷暖房設備の運転・維持管理及び湯茶の提供等の管理運営を行うことにより、港湾関係労働者の福利厚生に取り組みました。

## 2. 施設整備事業

### (1) 港湾厚生施設整備事業

既存厚生施設について、令和元年度も施設の改修及び維持保全に努めてまいりました。

### (2) 日港福助成施設整備事業

施設整備事業として、令和元年度も（一社）日本港湾福利厚生協会からの助成を受けて、次の整備事業を実施し、港湾関係労働者の生活・住環境の改善を図ってまいりました。

#### <工事名>

鈴蘭台西町共同住宅電気幹線改修他工事

工 期：着手 令和元年 8月21日 ・ 完成 令和2年 1月14日

設計監理費： 5,940,000円（消費税込み）

改修工事費： 65,670,000円（消費税込み）

財 源：（一社）日本港湾福利厚生協会 71,610,000円

## 3. 助成・補助等事業

### (1) 契約保養施設利用助成（実施事業等会計）

福利厚生の一環として、契約保養施設（全国127ヶ所）の利用に対して助成を行うことにより、神戸港で働く方やそのご家族の余暇の活用等福利厚生を促進を図ってまいりました。

令和元年度の利用状況は、3,167名（前年度3,257名）、助成額は922万円（前年度944万円）、対前年度比2.4%の減少となりました。

## **(2) 各種技能訓練への補助（実施事業等会計）**

公益社団法人神戸港湾教育訓練協会及び港湾労働災害防止協会兵庫県総支部が実施する各種技能訓練への補助（補助金 230 万円）を行うことを通じて、港湾関係労働者の技能の向上を側面的に支援し、神戸港における港湾運送事業の発展に努めてまいりました。

## **(3) 港湾殉職者慰霊祭の実施**

第 41 回港湾殉職者慰霊祭を港湾殉職者顕彰碑運営委員会と共催の上、例年どおり、ご遺族及び港湾関係者多数参列のもと、令和元年 11 月 22 日に神戸ポートオアシス多目的ホールに於いて厳かに執り行い、殉職者に対する心からの慰霊と一層の労働災害防止を誓いました。

## 4. 各施設の事業成績

### (1) 総合厚生施設及びピアハウスの事業成績

#### ① 食堂

施設名	食堂利用者数			収入（単位：万円）		
	令和元年度	平成30年度	前年度比	令和元年度	平成30年度	前年度比
ピアハウスオアシス	79,179名	79,103名	100.1%	3,632	3,662	99.2%
ピアハウスひょうご	51,509名	47,587名	108.2%	2,363	2,203	107.3%
ピアハウスエイト	48,882名	48,958名	99.8%	2,242	2,266	98.9%
ピアハウス摩耶1	64,288名	66,476名	96.7%	2,949	3,077	95.8%
ピアハウスポーアイ	57,476名	65,672名	87.5%	2,636	3,040	86.7%
ピアハウスポーアイ2	66,339名	71,859名	92.3%	3,043	3,326	91.5%
ピアハウス六甲1	87,068名	92,537名	94.1%	3,994	4,284	93.2%
ピアハウス六甲2	90,276名	84,053名	107.4%	4,141	3,891	106.4%
ピアハウス六甲3	74,853名	67,678名	110.6%	3,434	3,133	109.6%
合計	619,870名	623,923名	99.4%	28,433	28,881	98.4%

(注) 平成30年度は、台風20・21号高潮被害により「ひょうご」2日・「六甲2」及び「六甲3」31日の営業休止が有りました。

(注) 令和元年度の営業日数は、288日です（台風10・19号により2日間、臨時休業といたしました。）

#### ② 喫茶・喫茶コーナー（自販機含む）

施設名	喫茶利用者数			収入（単位：万円）		
	令和元年度	平成30年度	前年度比	令和元年度	平成30年度	前年度比
ピアハウスオアシス	8,652名	10,966名	78.9%	831	1,006	82.6%
ピアハウスはとば	—	1,148名	—	—	3	—
ピアハウス摩耶1	1,073名	1,432名	74.9%	3	4	75.8%
ピアハウスポーアイ	1,644名	800名	205.5%	2	2	100.9%
ピアハウスポーアイ2	1,236名	1,771名	69.8%	4	6	71.8%
ピアハウス六甲1	1,229名	1,521名	80.8%	4	4	81.3%
ピアハウス六甲2	—	389名	—	—	1	—
ピアハウス六甲3	—	525名	—	—	2	—
合計	13,834名	18,552名	74.6%	844	1,029	82.1%

(注) 「六甲2」・「六甲3」は、台風高潮被害により平成30年9月まで、以降は設置していません。

(注) 「はとば」は、業者撤退により平成31年3月まで、以降は設置していません。

#### ③ 売店

施設名	売店利用者数			収入（単位：万円）		
	令和元年度	平成30年度	前年度比	令和元年度	平成30年度	前年度比
第一福祉センター	41名	765名	5.3%	1	32	2.3%
合計	41名	765名	5.3%	1	32	2.3%

(注) 第一福祉センター売店売上は、煙草販売終了のため、日用品の実績です。

#### ④ 会議室・浴場

施設名	利用回数			収入（単位：万円）		
	令和元年度	平成30年度	前年度比	令和元年度	平成30年度	前年度比
第一福祉センター・会議室	10回	8回	125.0%	1	1	129.1%
第一福祉センター・浴場	2,978名	3,463名	86.0%	45	66	69.3%

⑤ 神戸ポートオアシス ホール・会議室

施設名	利用日数			収入（単位：万円）		
	令和元年度	平成30年度	前年度比	令和元年度	平成30年度	前年度比
多目的ホール	145日	141日	102.8%	—	—	—
会議室（502・503）	305日	291日	104.8%	—	—	—
合計	450日	432日	104.2%	—	—	—

（注）収入については神戸市（指定管理）

⑥ 自動販売機イトインコーナー（24時間）

販売品別	販売個数			収入（単位：万円）		
	令和元年度	平成30年度	前年度比	令和元年度	平成30年度	前年度比
飲料水自販機	19,212本	23,408本	82.1%	69	82	83.2%
ヌードル自販機	1,545個	1,663個	92.9%	1	1	93.8%
食品・パン自販機	2,950個	3,333個	88.5%	2	2	84.2%
合計	23,707個	28,404個	83.5%	72	86	83.4%

(2) コンビニエンスストアの事業成績

施設名	利用者数			収入（単位：万円）		
	令和元年度	平成30年度	前年度比	令和元年度	平成30年度	前年度比
ピア兵庫店	263,460名	265,785名	99.1%	16,842	16,592	101.5%
ピア六甲店	268,343名	268,878名	99.8%	16,080	15,968	100.7%
合計	531,803名	534,663名	99.5%	32,922	32,560	101.1%

（注）平成30年度は、台風20・21号高潮被害等により、「ピア六甲」7日及び「ピア兵庫」6日の営業休止がありました。

（注）令和元年度の営業日数は、364日です（台風10・19号により2日間、臨時休業といたしました。）

(3) 住宅施設の利用状況

① 各共同住宅

施設名	戸数	利用戸数		
		令和元年度	平成30年度	前年度比
コーポ西町住宅	40戸	16戸	17戸	94.1%
一ッ畷山住宅	196戸	114戸	121戸	94.2%
国産波止場住宅	165戸	143戸	130戸	110.0%
合計	401戸	273戸	268戸	101.9%

② 簡易宿泊所

施設名	室数	利用室数		
		令和元年度	平成30年度	前年度比
神戸港湾寮	57室	0室	6室	0.0%
神戸みなと寮	12室	0室	2室	0.0%
第一福祉センター	35室	0室	16室	0.0%
合計	104室	0室	24室	0.0%

（注）利用状況は年度末時点 すべての退去完了



#### (4) 契約保養施設利用状況

施設名	本人	家族	総数	補助金額	前年度比
神戸市関係保養施設	75名	7名	82名	239,000円	103.0%
兵庫県関係保養施設	601名	24名	625名	1,851,000円	91.6%
協議会・かんぼの宿	4名	6名	10名	24,000円	20.2%
日港福関係施設	558名	190名	748名	2,054,000円	95.3%
一般旅館施設	1,601名	16名	1,617名	4,835,000円	104.1%
国民宿舎	48名	37名	85名	218,000円	80.7%
合計	2,887名	280名	3,167名	9,221,000円	97.6%

#### (5) 港湾福利分担金の収入状況

年度	第1次交付金額	施設整備資金
平成23年度	174,462,970円	93,120,000円
平成24年度	169,828,213円	98,490,000円
平成25年度	168,287,173円	98,230,000円
平成26年度	193,225,498円	90,180,000円
平成27年度	213,305,821円	86,130,000円
平成28年度	213,306,967円	106,380,000円
平成29年度	215,577,603円	103,830,000円
平成30年度	209,087,742円	117,310,000円
令和元年度	202,967,736円	71,610,000円

(注) 平成30年度施設整備資金には、災害復旧追加助成 12,010,000円含む